



LEICA M-A

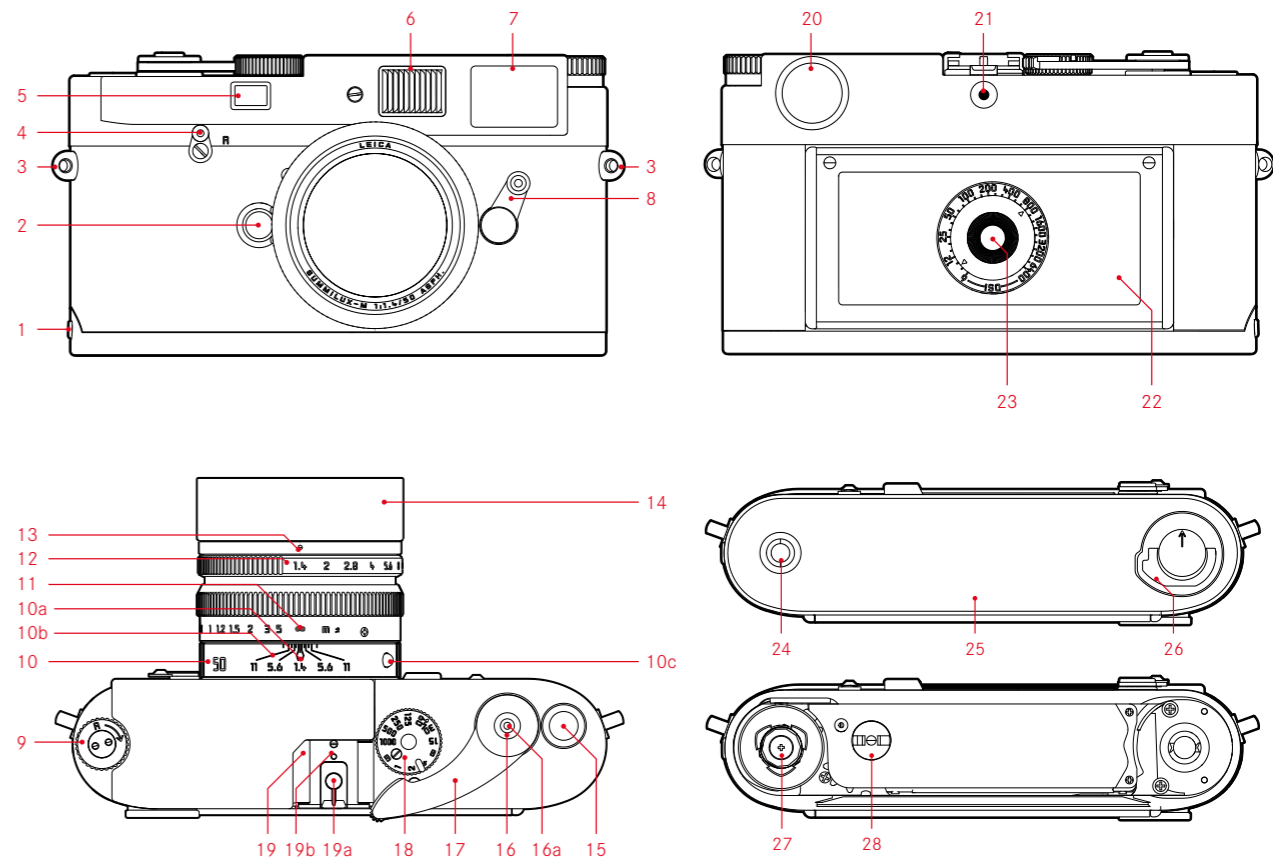
取扱説明書

はじめに

お客様へ
 このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は、独特の機能・性能を備えたフィルムレンジファインダーカメラです。
 正しくご使用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。

目次

はじめに.....	2
各部の名称.....	4
ファインダー内の表示.....	5
キャリングストラップの取り付け方.....	6
シャッターレリーズボタン.....	7
シャッタースピードダイヤル.....	7
巻き上げレバー.....	7
フィルムの交換.....	8
フィルム感度の設定.....	12
レンズの取り付け/取り外し.....	13
ブライトフレームファインダー.....	14
フレームセレクトター.....	14
ピント合わせ.....	16
露出(シャッタースピードと絞り値)の設定.....	17
フラッシュを使って撮影する.....	18
対応フラッシュユニット.....	18
フラッシュユニットの取り付けと接続.....	18
アクセサリ.....	20
スペア用アクセサリ.....	23
お手入れ.....	24
索引.....	25
テクニカルデータ.....	26
ライカ プロダクトサポート.....	28
ライカ カスタマーケア.....	28



各部の名称

正面

1. ベースプレート固定ピン
2. レンズ着脱ボタン
3. キャリングストラップ吊り環
4. 巻戻し解除レバー
5. 距離計窓
6. ブライトフレーム採光窓
7. ファインダー窓
8. フレームセクター

上面

9. 巻き戻しノブ
10. 固定リング
 - a. 距離指標
 - b. 被写界深度目盛
 - c. レンズ着脱指標
11. フォーカスリング
12. 絞りリング
13. 絞り指標
14. レンズフード
15. フィルムカウンター
16. シャッターリリースボタン
 - a. ケーブルリリース用ねじ穴

17. 巻き上げレバー(フィルム巻き上げとシャッターチャージ用)
18. シャッタースピードダイヤル(クリックストップ式)
 - ・ マニュアル設定 1秒~1/1000秒
 - ・ フラッシュ同調速度 1/50秒
 - ・ 長時間露出/露出系OFF B/OFF
19. ホットシュー
 - a. フラッシュ撮影用中央接点(シンクロ接点)
 - b. ロックピン用の穴

背面

20. アイピース
21. フラッシュシンクロソケット
22. 裏カバー
23. フィルム感度指標

ベースプレートと裏カバーを開けた状態

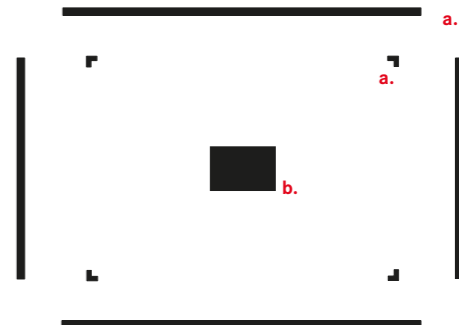
24. 三脚ねじ穴 A 1/4 (1/4インチ、DIN 4503に準拠)
25. ベースプレート
26. ベースプレート固定トグル

ベースプレートと裏カバーを開けた状態

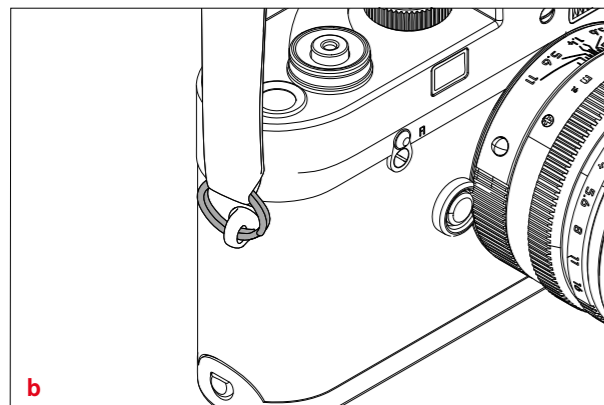
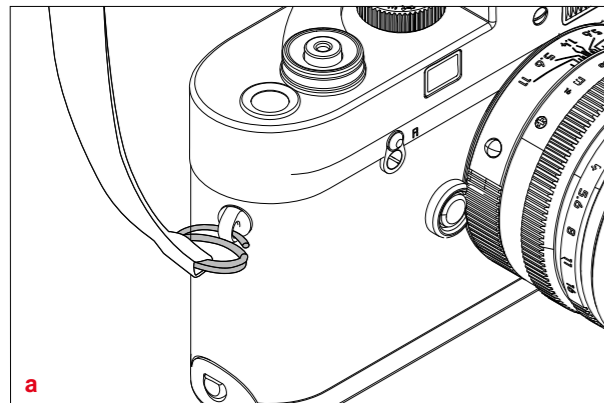
27. 巻き取りスプール
28. モータードライブ連結軸

ファインダー内の表示

- a. ブライトフレーム(50mmと75mmの例)
- b. フォーカシング測距枠



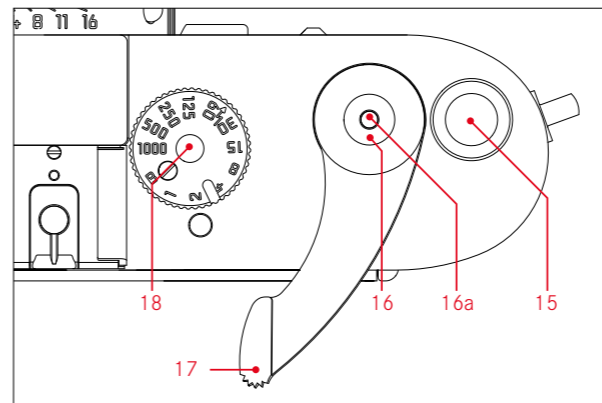
キャリングストラップの取り付け方



本製品の取り扱いについて

- 本製品は特に丈夫な材質によって作られています。そのため首が絞まってしまふ恐れがあり大変危険です。
- カメラのキャリングストラップとしてのみお使いください。他の用途への使用は、傷害を起こす危険があるため固く禁じられています。
- また登山やアウトドアスポーツの際も、引っかかってしまった場合などに首が絞まってしまふ恐れがあり大変危険ですので使わないでください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。本製品は玩具ではありませんので危険です。また子供のカメラのキャリングストラップとしての使用も避けてください。

シャッターリリースボタン



シャッターリリースボタンの作動ポイントは2段階(最初の作動ポイントまで軽く押す=半押し、深く押し込む=全押し)です。全押しすると撮影できます。撮影するときは、シャッターが切れる小さな音がするまで、一定の力でそとシャッターリリースボタンを押し込んでください。シャッターリリースボタンには、標準的なケーブルリリース用のねじ穴が付いています。

シャッタースピードダイヤル

シャッタースピードダイヤルを用いて、シャッタースピードを1/1000秒~1秒に切り替えることができます。オレンジまたは赤で印された「B」はフラッシュ同調速度の1/50秒を示します。また、同じくオレンジまたは赤で印された「B」に設定すると、シャッターリリースボタンを押し続けている間はシャッターが開いた状態になります。(長時間露出)シャッタースピードダイヤルはクリックストップ式です。どの位置でもロックされません。

メモ

- シャッタースピードの中間速度(クリックストップで止まる位置の中間)には設定できません。
- 「1000」から「B」または「B」から「1000」に回すことはできません。「1000」から他の速度に切り替えるにはダイヤルを左に、「B」から他の速度に切り替えるには右に回してください。

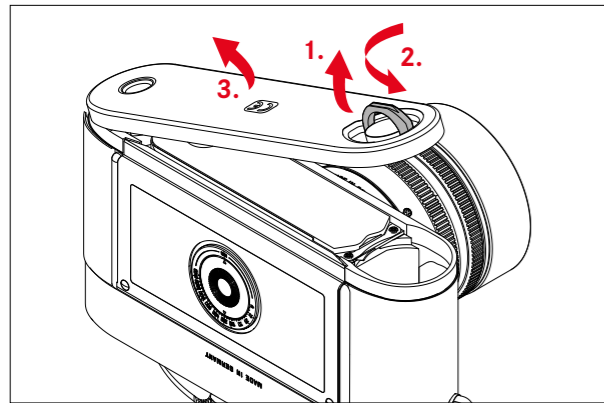
巻き上げレバー

フィルムの巻き上げは巻き上げレバーを使って行います。巻き上げレバーを回すと、フィルムが1コマ送られて、シャッターがチャージされ、フィルムカウンターが自動的に1目盛進みます。フィルムを巻き上げるときは、巻き上げレバーを右にいっぱいまで回します。小刻み巻き上げも可能です。巻き上げレバーを予備位置まで引き出しておくと、フィルムを素早く巻き上げることができます。

フィルムの交換

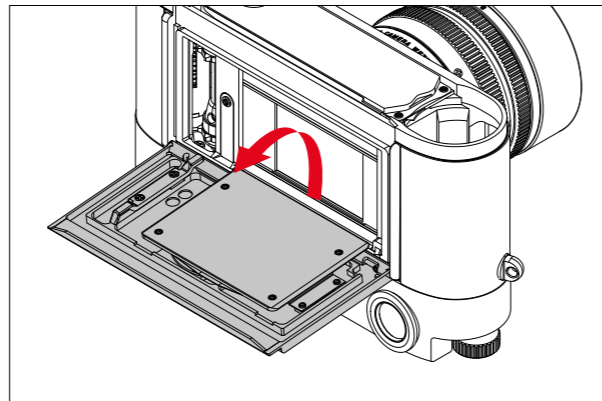
フィルムを交換するときは、必ず巻き戻しノブを矢印の方向へ静かに回して、フィルムが入っていないことを確認してください。巻き戻しノブを回して抵抗を感じた場合はフィルムが入っていますので、「フィルムを巻き戻す/取り出す」の手順に従ってフィルムを取り出してください。
フィルムが入っていないことを確認したら、ベースプレートを上にして本製品を持ちます。

カメラの開け方



1. ベースプレート固定トグルを引き出します。
2. ベースプレート固定トグルを左に回します。
3. ベースプレートを持ち上げて取り外します。
4. 裏カバーを開けます。

フィルムを入れる



5. フィルムカートリッジを右手に持ち、フィルム室にカートリッジを半分ほど入れます。
6. 本製品に描かれた「フィルムの入れかたの説明図」に従って、フィルムの先端部を巻き取りスプールに差し込みます。
7. フィルムカートリッジと先端部を、指先でカメラ内へ慎重に押し込みます。

メモ

- ・ 既製品のフィルムは必ず先端部が細くなっています。
- ・ フィルムの先端部を引き出しすぎた場合でも、巻き取りスプールから多少はみ出した程度であれば、カメラに支障をきたすことはありません。ただし、気温が0°Cを下回るような状況では、フィルムの先端が巻き取りスプールからはみ出してしまうと、その部分が凍って折れてしまうおそれがありますので、「フィルムの入れかたの説明図」に従って正しくフィルムを入れてください。

重要

ベースプレートは、カメラに取り付けられた状態で、フィルムを正しい位置に装填するように設計されています。カメラを開けた状態で、フィルム送りを確認しないでください。

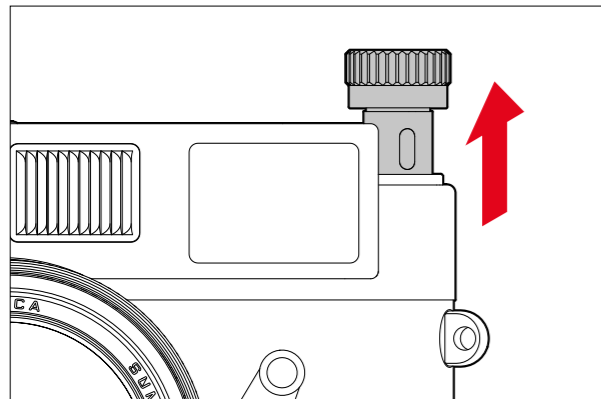
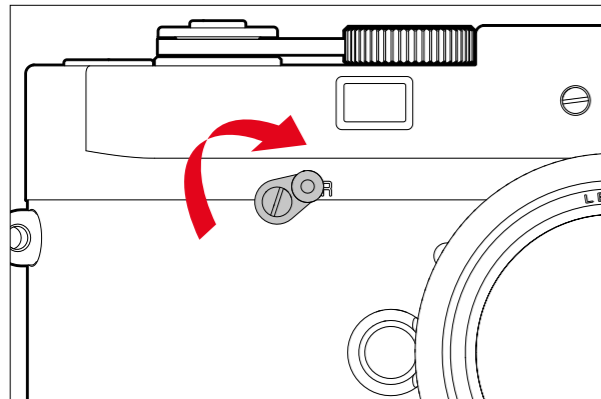
カメラを閉じる

8. 裏カバーを閉じます。
9. ベースプレートを本製品の側面にある固定ピンに掛けます。
10. ベースプレートを本製品に取り付けます。裏カバーがしっかり閉じられていることを確認してから、ベースプレートを正しく取り付けてください。
11. ベースプレート固定トグルを締めてベースプレートを固定します。

フィルムを1コマ目まで送る

12. 巻き上げレバーを回してフィルムを1コマ分送り、シャッターを切ります。
13. 巻き戻しノブを矢印の方向にゆっくり回してフィルムのたるみを取り、巻き上げレバーをもう一度回します。巻き戻しノブが矢印と反対の方向に回れば、フィルムは正しく送られています。
14. もう一度シャッターを切り、さらにもう一度巻き上げレバーを回します。これで、フィルムカウンターが「1」になります。フィルム感度を設定・確認すれば、撮影の準備は完了です。

フィルムを巻き戻す/取り出す



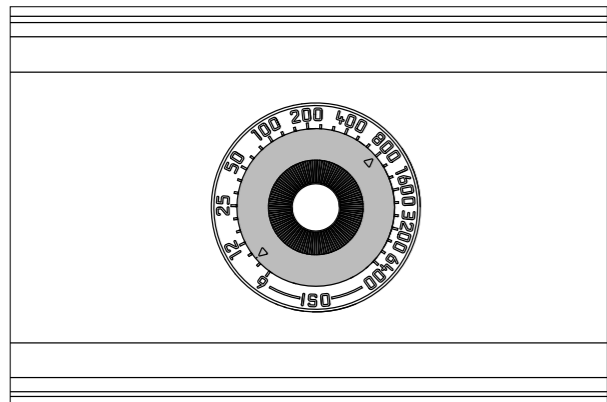
最後のコマまで撮影すると、巻き上げレバーが動かなくなります。この状態になったら、フィルムを巻き戻して取り出します。

1. 巻き戻し解除レバーを「R」の位置に合わせます。
2. 巻き戻しノブを引上げます(最大11mm引き上げることができます)。
3. 巻き戻しノブを右(矢印の方向)に回します。途中で軽く抵抗を感じますが、そのままさらに回すと、フィルムが巻き取りスプールから外れます。
4. ベースプレートを取り外します。
5. 裏カバーを開けます。
6. フィルムカートリッジを取り出します。

長尺フィルムを使用したときなどに、フィルムがフィルムカートリッジのスプールに上手く付着していないと、フィルムの先端がスプールから外れてしまう恐れがあります。このような場合は、巻き戻しノブを回してもフィルムが空回りして巻き戻せませんので、次の手順でフィルムを取り出してください。

1. 光を完全に遮断した部屋でベースプレートを取り外します。
2. 底面を下にして本製品「」を持ちます。
3. 巻き上げレバーをゆっくりと数回回します。フィルムのパトローネが出てきたら、手でつまんで取り出してください。必要に応じて、本製品を手で軽く叩いて取り出しやすくしてください。

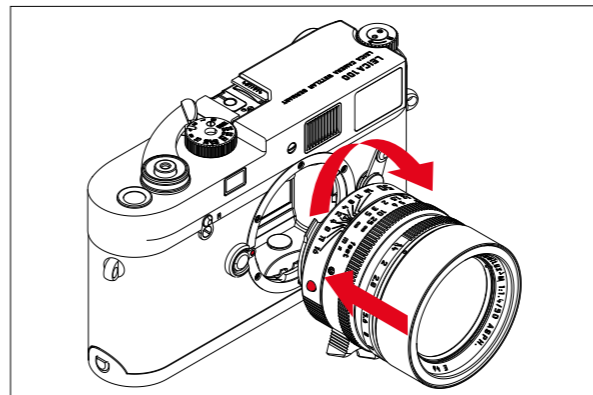
フィルム感度を設定する



フィルム感度の設定はフィルム感度ダイヤルを使って行います。本製品で設定できるフィルム感度はISO 6～6400です (ISOはフィルム感度を表す国際単位です)。フィルム感度を設定するには、フィルム感度ダイヤルを回して希望の数値をフィルム感度指標 (白い指標) に合わせます。

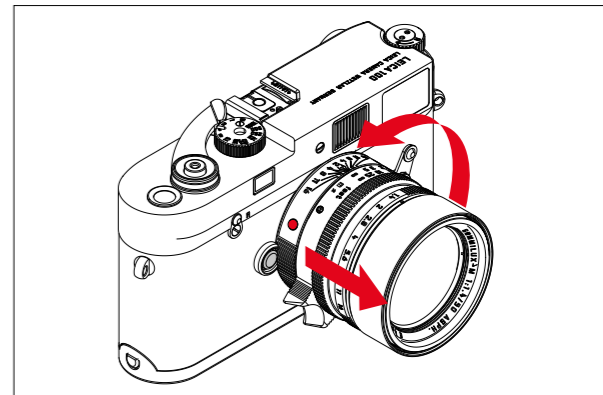
レンズの取り付け/取り外し

取り付けかた



1. 固定リングに指をそえてレンズを持ちます。
2. レンズ着脱用の赤い指標と本製品のレンズ取り外しボタンの位置を合わせます。
3. レンズをまっすぐはめ込みます。
4. 「カチッ」と音がするまでレンズを右に回します。

取り外しかた



1. 固定リングに指をそえてレンズを持ちます。
2. レンズ取り外しボタンを押します。
3. レンズ着脱用の赤い指標とレンズ取り外しボタンの位置が合うまでレンズを左に回します。
4. レンズをまっすぐ取り外します。

メモ

フィルムが入っている状態でレンズを交換するときは、本製品に直射日光が当たると、光がシャッターから入り込んでフィルムが感光するおそれがあります。体で直射日光を遮るなどしてレンズを交換してください。

ブライツフレームファインダー

本製品のブライツフレームファインダーは、明るく鮮やかな表示の高性能な大型ファインダーで、レンズに合わせて高精度の距離計が機能する距離計連動式です。

ブライツフレームのサイズは、各焦点距離において、35×23mm(スライドフォーマット)の画面サイズに一致します。撮影距離が長くなると、撮影される範囲はブライツフレーム内に見える範囲よりも広くなります。

ブライツフレームはフォーカシング機構と連動しており、パララックス(レンズとファインダー軸のズレ)は自動的に補正されます。ブライツフレーム内に見える範囲は、0.7mから無限遠までの撮影範囲で実際に撮影される範囲とほぼ一致します。

ファインダー倍率は0.72倍です。ブライツフレームに対応するレンズは、焦点距離28mm(シリアルナンバー2 411 001以降のエルマリット)、35mm、50mm、75mm、90mm、135mmのレンズです。これらのレンズを装着する

と、28mm+90mm、35mm+135mm、50mm+75mmのブライツフレームの組み合わせの中から焦点距離に対応した1組が自動的にファインダーに表示されます。

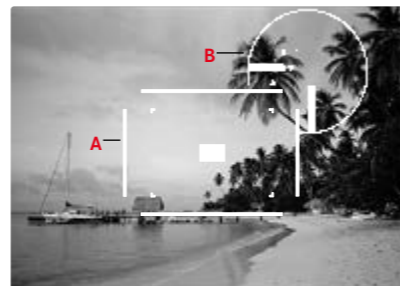
ファインダーの中央には、ピント合わせ用の四角い測距枠が周辺よりも明るく表示されます。距離計と連動するレンズは、焦点距離が16~135mmの全レンズです。

フレームセクター

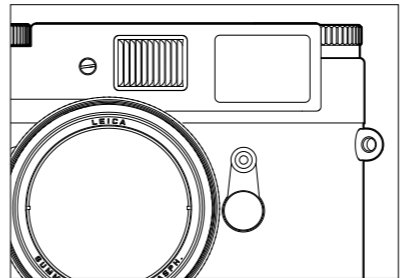
フレームセクターを使うと、使用レンズ以外のブライツフレームの組でも自由に表示することができます。ブライツフレームを切り換えることで、使用レンズの構図(撮影範囲)とその他の焦点距離のレンズの構図を簡単に比較できるので便利です。

フレームセクターを外側(レンズの反対方向)にセットすると、35mmと135mm用のブライツフレームが表示されます。垂直の位置にセットすると、50mmと75mm用のブライツフレームが表示されます。内側(レンズに近い方向)にセットすると、28mmと90mm用のブライツフレームが表示されます。

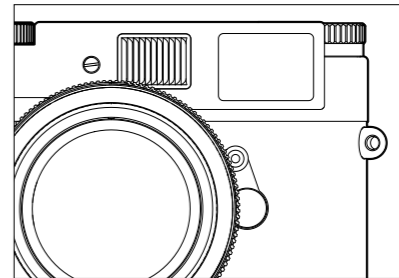
A	ブライツフレーム
B	撮影範囲(拡大図)
撮影距離	撮影範囲
0.7m	ブライツフレームの幅で約1つ分狭い範囲
2m	ブライツフレームの内側の辺で示される範囲
無限遠	ブライツフレームの幅で縦に約1つ分、横に約4つ分広い範囲



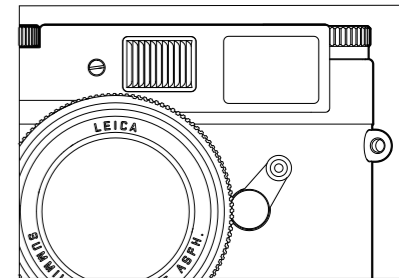
50 mm + 75 mm



28 mm + 90 mm



35 mm + 135 mm



ピント合わせ

本製品の距離計は有効基線長が長いので、高精度にピントを合わせることができます。特に広角レンズを使って深めの被写界深度で撮影するときに効果的です。

ファインダーの中央には、フォーカシング測距枠が明るくはつきりとした長方形で表示されます。ファインダー窓が覆われても、フォーカシング測距枠とブライトフレームは表示されたままになります。

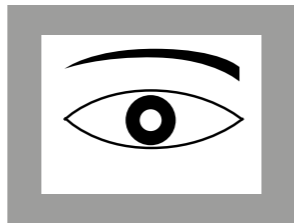
ピント合わせは、このフォーカシング測距枠を用いて、二重像合致式またはスプリットイメージ式で行います。

二重像合致式

例えばポートレート撮影では、被写体の目にフォーカシング測距枠を合わせ、目の輪郭が重なるようにフォーカシングを回します。重なったら構図を決めてください。



二重線=ピントが外れている

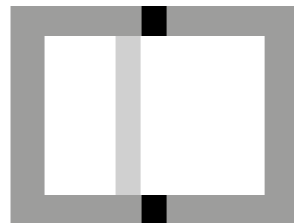


像の合致=ピントが合っている

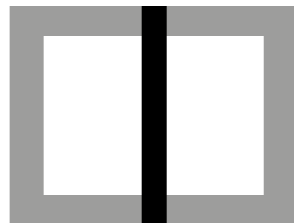
スプリットイメージ式

建築撮影などでは、建物の縁などの垂直な線にフォーカシング測距枠を合わせ、枠内と枠外の境界線で線が一直線になるようにフォーカシングを回します。一直線になったら構図を決めてください。

実際の撮影では、どちらの方法もそれほど大きな違いはありません。2つの方法を組み合わせて使えば、より効果的にピントを合わせることができます。



線のズレ=ピントが外れている




線の合致=ピントが合っている

露出(シャッタースピードと絞り値)を設定する

本製品では、シャッタースピードと絞り値を手動で設定して露出を決めます。露出を決めるには、単体の露出計を使うか、自分で状況を判断します。

フラッシュを使って撮影する

本製品にはフラッシュ制御機能はありません。フラッシュ撮影するときは、フラッシュユニットの外部調光オート機能を使うか、ガイドナンバー計算で露出を決めてください。フラッシュユニットの外部調光オート機能を使うと、被写体までの距離が外部フラッシュユニットの調光範囲内であれば、絞り値を一定にしても発光量が自動調整されます。ガイドナンバー計算を用いるときは、撮影ごとに被写体までの距離に応じて絞り値を算出する必要があります。

フラッシュ同調速度（フラッシュ撮影時に設定できる最高シャッタースピード）は1/50秒です。シャッタースピードダイヤルには「」と表記されています。特殊な効果を表現するために、1/50秒より遅いシャッタースピード（B/OFF=バルブ撮影を含む）も使用できます。

重要:

ホットシューに装着されたフラッシュはメカ的なトリガーによって発光するため、シャッターボタンが押されると、撮影しない場合でも発光することがあります。

対応フラッシュユニット

SF 26は、コンパクトなサイズと本製品にマッチするデザインで、本製品での使用に最適です。電子制御式の自動調光などの便利な機能が充実しており、手軽にフラッシュ撮影を楽しめます。

サイリスタ制御式のフラッシュユニットの使用をおすすめします。

重要

フラッシュユニットを取り付けるときは、取り付け脚をホットシューの奥まで確実に差し込み、ロックナットが付いている場合はしっかり締めて、フラッシュユニットが外れてしまうことのないようにしてください。フラッシュユニットの接点とホットシューの接点の位置がずれてしまうと発光されないことがありますので、取り付けには特に注意してください。

メモ

- フラッシュユニットを取り付けるときは、必ずフラッシュユニットの電源を切ってください。
- フラッシュユニットの使用法やフラッシュ機能については、各フラッシュユニットの取扱説明書をご覧ください。

アクセサリ

交換レンズ

Mシステムは、シャッターチャンスを逃さない素早い撮影や、被写体にカメラを過度に意識させない撮影に理想的なシステムです。交換式のMレンズには、焦点距離が16～135mm、開放F値が最大でF0.95と、幅広いラインアップがそろっています。

フィルター

現行のMレンズは標準的なフィルターねじを備えており、UVaフィルターやユニバーサル偏光フィルターを取り付けることができます。

ユニバーサル広角ビューファインダー M

焦点距離が16mm、18mm、21mm、24mm、28mmの超広角レンズを装着したときに、本製品のファインダーと同様に各レンズ用のブライトフレームを表示する、便利な外付けファインダーです。本製品を含むデジタルとフィルムのMカメラ全機種で使用できます。パララックス補正機能と、カメラを水平に保つための水準器を装備しています。
(商品コード 12011)

ビューファインダー M

広角レンズ用の外付けファインダーで、18mmレンズ用、21mmレンズ用、24mmレンズ用の3種類をラインアップしています。コンパクトなデザインと鮮やかなファインダー像が特長です。本製品のファインダーと同様にブライトフレームも表示されるので、正確にフレーミングできます。
(商品コード
18mm用/ブラック：12022、/シルバー：12023、
21mm用/ブラック：12024、/シルバー：12025、
24mm用/ブラック：12026、/シルバー：12027)

ビューファインダー・マグニファイアー M 1.25倍/1.4倍

ファインダーに映る被写体を1.25倍または1.4倍に拡大するアクセサリです。焦点距離が35mm以上のレンズを使うときに効果的で、構図を簡単に決めることができます。Mカメラ全機種で使用できます。本製品に装着したときは、ファインダー倍率が0.72倍×1.25=0.9倍または0.72倍×1.4=等倍になります。紛失防止のためにフック付きの真鍮チェーンが付いており、キャリングストラップのリングに取り付けておくことができます。また、ループ付きのレザーケースも付属しています。ケースに収納してループにキャリングストラップを通しておけば、キズや汚れから保護できるだけでなく、必要なときに素早く取り出せます。
(商品コード 1.25倍：12004、1.4倍：12006)

フラッシュユニット

SF 58は、汎用性の高い高性能フラッシュユニットです。最大でガイドナンバー58（照射角105mm）の大光量、照射角を調整できるメイン発光部、サブ発光部など、多彩な機能を搭載しています。SF 26は、非常に使いやすいフラッシュユニットです。コンパクトなサイズとデザインが本製品にマッチしており、本製品での使用に最適です。
(商品コード SF 58：14488、SF 26：14622)

レンズキャリアー M

レンズキャリアー Mを三脚ねじ穴に取り付けると、2本目のレンズをカメラの底面に取り付けて携帯できるので便利です。レンズをカメラの底面にしっかりと固定でき、必要などときには素早く取り外して撮影に使えます。取り付けしたレンズをハンドグリップ代わりにしてカメラを構えることもできます。

(商品コード 14404)

視度補正レンズ

視度を調整してファインダー表示を見やすくするレンズ（球状レンズ）です。+0.5、+1、+1.5、+2、+3、-0.5、-1、-1.5、-2、-3の10種類があります。

ライカモーター M

フィルムの巻き上げとシャッターチャージを自動で行うモータードライブです。1コマ撮影のほか、毎秒1.5コマまたは3コマの連続撮影も可能です。ベースプレートを取り外して底面に取り付けます。

本製品で設定できるシャッタースピードの全速度(1~1/1000秒、「B」)で使用できます。

ライカモーター Mの電源を切った状態や電池が切れた状態では、手動でのフィルム巻き上げとシャッターチャージが可能です。ケーブルリリースを使った撮影も可能です。

(商品コード 14408)

ライカビット M

静かに素早くスムーズにフィルムを巻き上げることができ、手動式ワインダーです。レバーを引き下げて左にスライドするだけで、ファインダーから目を離さずにフィルムを巻き上げることができます。小刻み巻き上げも可能です。撮影は通常どおりシャッターレリーズボタンを押して行きます。ライカビット Mを装着した状態でも、巻き上げレバーを使ってフィルムを巻き上げることができます。ベースプレートを取り外して底面に取り付けます。カラーはシルバークローム、ブラッククローム、ブラックペイントの3種類です。

(商品コード シルバー・クローム：14008、
ブラック・クローム：14450、ブラック・ペイン
ト：14009)

ケース

専用ケースとして、レンズを装着したままカメラ本体を収納できるネオブレンケース（装着レンズの長さ別にショートノーズとロングノーズの2種類）、レザー製のクラシックな速写ケース、速写ケースのベース部分に似たデザインのカメラプロテクターをラインアップしています。カメラプロテクターは、装着したままでも撮影が可能で、撮影時もカメラ本体をしっかり保護します。

(商品コード ネオブレンケース/ショートノーズ：14867、ネオブレンケース/ロングノーズ：14868、速写ケース：14872、カメラプロテクター：14869)

また、撮影機材をまとめて収納できる、クラシックなデザインのビリンガム コンビネーションバッグも用意しています。カメラ2台とレンズ2本またはカメラ1台とレンズ3本を収納できるほか、ハンドグリップ Mを装着したカメラや大型レンズも収納できる、大容量のバッグです。SF 26 フラッシュユニットなどのアクセサリを収納できるジッパー式のポケットも付いています。素材には防水性のある生地を使用しています。

(商品コード ブラック：14854、カーキ：14855)

スピア用アクセサリ

キャリングストラップ 14 312
ボディキャップ 14 195

製品コード

お手入れ

- 本製品を長期間使用しない場合は、カメラケースから出して、風通しのよい乾いた場所で保管してください。
- 収納しているケースが湿った場合は、湿気や湿気によって染み出てくるなめし剤によって本製品が故障するのを防ぐために、本製品をケースから取り出してください。
- 高温・多湿の熱帯地域で使用するときは、カビが発生するのを防ぐために、できるだけ多く日光や風に当ててください。密封ケースに保管するときは、シリカゲルなどの乾燥剤を入れてください。
- 汚れはカビや細菌などの繁殖の原因となりますので、本製品は清潔に保ってください。
- 機械的に動作するベアリングやスライド部には潤滑油を使用しています。長期間使用しない場合は、動作が鈍くなるのを防ぐために、フィルムを入れずにシャッターをチャージして、すべてのシャッタースピードに設定してシャッターを数回切るといった動作を約3ヶ月ごとに行ってください。また、フレームセレクトなどのその他の操作部もすべて定期的に動かすことをおすすめします。
- 本製品の正面に強い太陽光が当たると、レンズがルーペと同じ作用をします。太陽光とレンズの作用により本製品の内部が破損しますので、レンズを保護せずに本製品を強い太陽光に向けたまま放置しないでください。レンズキャップを取り付けて、日陰に置いたりケースに収納したりして、強い太陽光が当たらないようにしてください。

- 指紋などの汚れは、柔らかい清潔な布で拭き取ってください。布では拭き取りにくい隅の汚れには、小さなブラシをお使いください。
- 本製品の表面をお手入れする際は、液体のクリーナーは使わないでください。内部(フィルムガイドなど)に付着したごみやほこりは、エーテルでよく洗浄して乾かした柔らかいブラシを使って落としてください。ブラシの柄でシャッター幕を傷つけないようにご注意ください。
- 本製品のシリアルナンバー(ホットシューに刻印されています)とレンズのシリアルナンバーは、紛失・盗難の際に重要となりますので、書き写して保管してください。

索引

アクセサリ	20
キャリングストラップの取り付け方	6
ケース	23
視度補正レンズ	22
シャッター	7
テクニカルデータ	26
ピント合わせ	16

フィルム	
入れる	8
巻き戻す/取り出す	10
フィルム感度ダイヤル	12
フィルター	20
フラッシュを使って撮影する	18
ブライトフレームファインダー	14
レンズの取り付け/取り外し	13
露出(シャッタースピードと絞り値)を設定する	17

テクニカルデータ

型式 LEICA M-A (Typ 127) 35mmフィルムレンジファインダーカメラ 機械制御式シャッター搭載
レンズマウント ライカ M/バヨネットマウント方式
使用レンズ ライカ Mレンズ (焦点距離16~135mm)

露出制御 マニュアル露出 (単体の露出計または撮影者の状況判断に基づき、シャッタースピードおよび絞り値を手動で設定)

フラッシュ制御

フラッシュユニットの接続 ホットシュー (中央接点を装備)

フラッシュ発光のタイミング 先幕シンクロ

フラッシュ同調速度 1/50秒 (⚡) これより遅いシャッタースピードでのフラッシュ撮影も可能

調光方式 接続したフラッシュユニットによる外部自動調光またはガイドナンバー計算による絞り値の手動設定

ファインダー

型式 大型ブライトフレームファインダー パララックス自動補正機能付き
アイピース 視度: -0.5 dpt. 視度補正レンズ (-3~+3 dpt.) を装着可能

フレーミング 2フレーム1組 (28mm用と90mm用、35mm用と135mm用、50mm用と75mm用) で表示されるブライトフレームを使用 装着したレンズの焦点距離に合わせて自動表示

フレームセクター 任意のブライトフレームの組を手動で表示可能 (焦点距離の異なるレンズの撮影範囲の確認などに使用)

パララックス補正 ファインダーの視野とレンズにおける上下および左右の差異をピント調整に応じて自動補正、ブライトフレームの表示範囲と撮影範囲が自動的に一致

ブライトフレームと撮影範囲 使用レンズの最短撮影距離のときにフィルム (約35×23mm) で撮影される範囲を表示 無限遠のときは、使用レンズの焦点距離に応じて、ブライトフレームの表示よりも約9% (28mmレンズ) ~23% (135mmレンズ) 広い範囲を撮影

ファインダー倍率 0.72倍 (すべてのレンズ)

ピント合わせ フォーカシング測距枠 (ファインダーの中央に明るい領域として表示) を使用 二重像合致式またはスプリットイメージ式

有効基線長 49.9mm (基線長69.25mm×ファインダー倍率0.72倍)

シャッターとシャッターリリース

シャッター 水平走行式ゴム引き布幕フォーカルプレーンシャッター、極めて静かな作動音、メカニカル制御式
シャッタースピード 1秒~1/1000秒 (中間速度不可)、「B」:バルブ撮影、長時間露出、「⚡」:フラッシュ同調速度 1/50秒
シャッターリリースボタン 標準ケーブルリリース用のねじ穴付き

フィルム

装填 ベースプレートと裏カバーを開けて手動で装填
巻き上げ 巻き上げレバーまたはライカビットM (別売) による手動巻き上げ、ライカモーターM (別売) による自動巻き上げ

巻き戻し 巻き戻しノブによる手動巻き戻し 巻き戻しクランク (別売) を取り付け可能

フィルムカウンター 本体上面に装備 ベースプレート取り外し後に自動的にリセット

本体

材質 開閉式裏カバー付きフルメタルボディ、真鍮製トッププレートとベースプレート、ブラックペイント/シルバークローム/ブラッククローム仕上げ

三脚ねじ穴 A1/4 (1/4インチ) DINに準拠 ベースプレートに配置

裏カバー フィルム感度ダイヤルを装備

寸法 約138×77×38mm (幅×高さ×奥行)

質量 約578g

付属品 ボディキャップ、キャリングストラップ

ライカデジタルサポートセンター

<技術的なお問合せ窓口>

Tel: 0120-03-5508

受付時間:

月曜日 - 金曜日 9:30 - 18:00

祝祭日は受け付けておりません。

ライカカスタマーケア

お手持ちの製品のメンテナンスや修理が必要な場合は、下記のカスタマーケア、またはお近くのライカ正規販売店までご相談ください。

ライカカメラジャパン株式会社

カスタマーケア

東京都中央区銀座6-4-1 ライカ銀座店内

Tel: 03-6215-7072

Fax: 03-6215-7073

E-mail: info@leica-camera.co.jp